

部会名：		全体会・担当者会				
部会長（氏名・所属先）		石田（社会福祉法人 夢21福祉会）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関	相談支援従事者	27	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	88	医療機関	6	教育関係機関	7
	民間企業	0	高齢者介護の関係機関	0	当事者・当事者団体	3
	当事者の家族	4	権利擁護関係団体・者	1	大学等	0
	公共職業安定所	0	保健所・保健センター	0	保育所	0
	児童相談所	1	身体障害者相談員	0	知的障害者相談員	0
	民生・児童委員	0	地域住民代表	0	区福祉保健センター	2
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8
	社会福祉協議会	1	その他	3	合計	156
年間目標	各現場での日頃の実践（支援や地域交流等）の好事例を共有し、その実践を区域に拡げて地域に共に助け合える人を増やしていくことで、障害のある方も暮らしやすい保土ヶ谷区の実現を目指す。そのためにも各部会の年間目標、拠点整備計画やにも包括が地域福祉保健計画と連動すべく一歩一歩を着実に、具体的に実現させていく。					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	（第1回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画、拠点整備計画、区制100周年イベント等の共有。					5/15（木） 14:00-16:30
6月	（第1回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議 各部会活動、拠点事業所について現状や展望、気づきや課題の共有等。					6/3（火） 14:00-16:30
7月						
8月						
9月						
10月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。地域との連携、身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有					10/7（火） 14:00-16:30
11月	（第2回担当者会）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。「地域連携」に対する意見・具体的なアイデア出し。					11/10（月） 14:00-16:30
12月	区3機関定例カンファレンスとの協働。アイデア提案や協議、拠点整備計画の振返り、次年度に向けて。					12/10（水） 9:30-11:30
1月						
2月						
3月	（第3回担当者会議）/場所：保土ヶ谷区役所地下会議 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。自立協HPについて。					3/3（月） 14:00-16:30
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 自立支援協議会をPDCAサイクルで運営し、拠点整備計画とも連動する仕組みが定着。全体会や担当者会、各部会の事例検討等を通して、顔の見える関係と事業所間の相互理解が進んでいる。また担当者会と3機関定例カンファレンスとの協働機会では各部会だけではなく拠点事業所の参画により、各事業所の現状の課題や運営状況等についてお互いを知る機会となった。					
	運営上の課題 ・上記の連動の仕組みは定着しているが、自立協全体として区地域福祉保健計画との連動までは届いていない。また、各部会の事例検討だけでは課題抽出の仕組みが上手く機能しないということがわかった。そのため、メゾ・マクロレベルの視点での課題抽出や部会等に横ぐし刺す仕組みづくりが別途必要。 ・事業所の人材不足により、各部会の事務局を担う負担感が大きい。 ・部会の目的・実施概要については適宜振り返るとともに、現状に応じてブラッシュアップをしていく必要がある。					
シェアしたい取組	全体会・担当者会・各部会プラスα3機関定例CFでのPDCAサイクルによる拠点整備計画を反映させた部会運営と地域の体制づくり。					
	市域で共有・検討したい課題 区自立支援協議会は深刻な人材不足の影響を受け、特に事務局の担い手不足が顕在化している。参画することで「横の繋がりが増える」というメリットはあるものの、経営面では人手を割くことによる負担増という側面が大きくなっている。事業所にとっては、参画の有無が収入に反映されないため、現状のままでは協体制の維持が困難となる懸念がある。横浜市として、自立協に主体的に参画・貢献する事業所に対し、何らかの加算設定や報酬上の評価、あるいは市独自の支援策など、その貢献を正当に評価し「違い」を作る仕組みを検討できないか。					